

取扱説明書

モナロウ レバーホイス 軽量・強靱アルミボディ

注文コード：45857746, 45857755

このたびは、レバーホイス 軽量・強靱アルミボディをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。また、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。

1 安全にお使いいただくために

ここに書かれた注意事項は、人体への危害や財産への損害を未然に防止するための内容です。
いずれも安全にお使いいただくためには重要ですので、必ずお守りください。

⚠ 危険 この表示内容が無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が切迫して想定される内容をしめています。

⚠ 警告 この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。

⚠ 注意 この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「ケガや傷害を負うこと、製品の破損やそれに伴う財産の損害が発生するおそれがある」内容です。

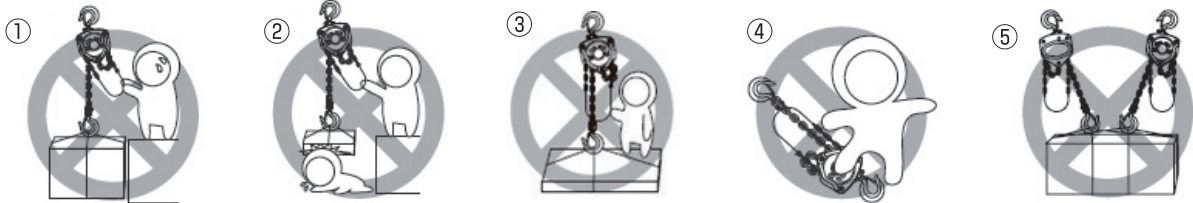
ご使用上の注意

【はじめに】 誤った使用方法により人的傷害や製品の破損、その他の物的損害が生じた場合、一切の補償、責任を負いません。
また、本製品の分解・改造・修理は、決して行わないでください。

⚠ 危険

取扱全般

- 本書の内容を熟知しない人は使用しないでください。 ● 本来の目的以外の用途では使用しないでください。 ● 使用前に必ず周囲の安全を確認してから使用してください。
- 定格荷重以上の荷重は絶対に加えないでください。(下図①) ● 吊り荷の下や、吊り荷の動く範囲には絶対に入らないでください。また、人の頭上を越えて荷を運搬しないでください。(下図②) ● 本製品は、人の持ち上げ、支持、搬送のいずれにも使用しないでください。(下図③) ● 脚で操作しないでください。(下図④) ● 複数のレバーホイスで共吊りしないでください。(下図⑤) ● 損傷があったり、異常音がるレバーホイスを使用しないでください。 ● ロードチェーンのねじれ、もつれ、亀裂、かみ合いに異常があったり、規定より伸びているもの、摩耗が激しいものは使用しないでください。 ● 本製品および付属品の改造は絶対にしないでください。



⚠ 危険

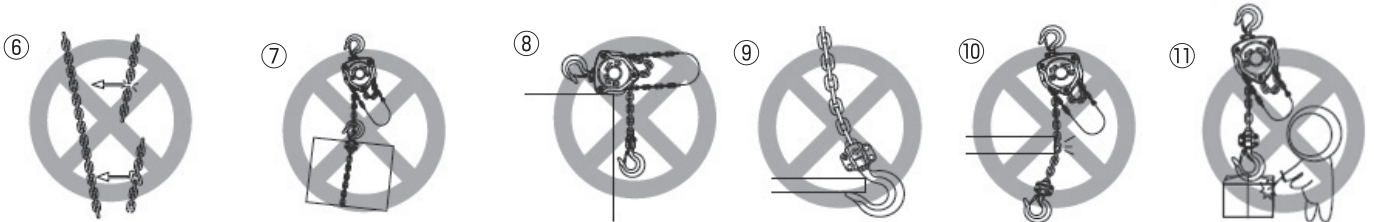
保守点検

- 保守点検は、必ず事業者が定めた専門知識のある人が行ってください。 ● 強度を弱め破損するおそれがあるので、チェーンの熱処理、曲げ加工、切断、継ぎ足し、溶接は絶対に行わないでください。 ● 保守点検は、必ず吊り荷がない状態で行ってください。 ● 異常が見つかったときは、そのまま使用しないでください。 ● 保守点検のときは、「点検中」などの表示をして実施してください。

⚠ 警告

ご使用前の警告

- ねじれ、もつれ、傷み、伸びのいずれかが生じているロードチェーンは絶対に使わないでください。(下図⑥) ● チェーンをスリングとしては使わないでください。(下図⑦)
- レバーホイスを支持具として使わないでください。(下図⑧) ● 荷をフックの先端で支えないでください。(下図⑨) ● ロードチェーンを鋭利なものに接触させないでください。(下図⑩) ● 吊り荷を溶接・切断しないでください。(下図⑪) ● 吊った荷に人は乗らないでください。 ● 人の手引き力以外での操作はしないでください。 ● 荷を吊った状態で操作位置を離れないでください。 ● 建屋、構造物に引っ掛ける操作などをしないでください。 ● 吊り荷の反転作業はしないでください。 ● 操作中は荷と周辺から注意をそらさないでください。 ● 使用前にブレーキの動作を確認し、ブレーキが確実に作動しないときは使用しないでください。 ● 宙吊りした荷を電気溶接しないでください。 ● ロードチェーンに溶接機のアースを接続しないでください。 ● ロードチェーンに溶接用電極を絶対に接触させないでください。 ● 巻上げの際は、ロードチェーンが張ったところで一度停止してください。 ● 損傷および正常に動作しないレバーホイスは使わないでください。 ● 吊り荷は揺らさないでください。 ● 下フックがチェーンブロック本体に触れる位置に来るような操作はしないでください。 ● ロードチェーンが固定具を引っ張る位置に来るような操作はしないでください。 ● 極端なノイズが発生する場合には操作しないでください。 ● 荷物は、持ち上げたあとはゆっくりと安全に降ろしてください。 ● 荷は、長期間吊しておかないでください。 ● 巻下げ時に巻下げをし過ぎないでください。

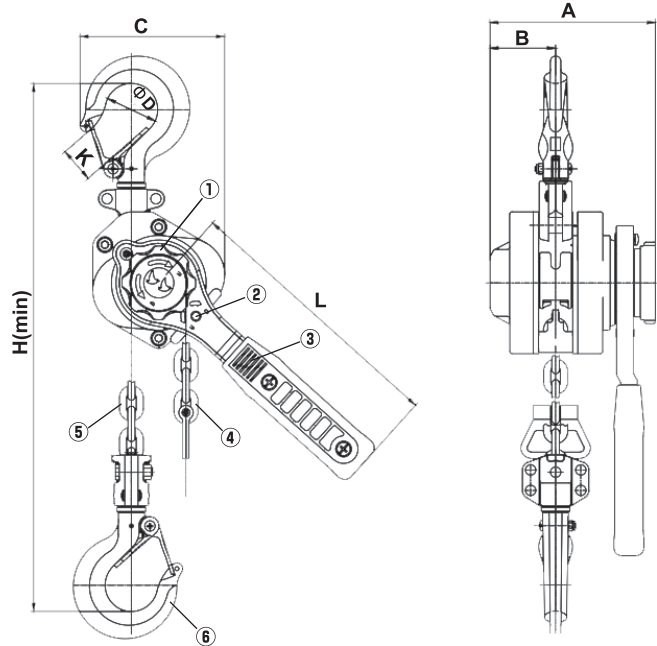


⚠ 注意

ご使用前の注意

- 銘板の記述はすべて、はっきりと見えるようにしてください。 ● レバーホイスは、日常使用前に「日常点検」に従って点検してください。 ● 貨物の重量によって適切な定格荷重のレバーホイスを選択してください。 ● フックが変形していないこと、フックがスムーズに回転することを確認してください。 ● フックの外れ止め金具が破損している場合は絶対に使用しないでください。 ● ロードチェーンに潤滑油を注油してください。 ● 作業に必要な揚程が十分であることを確認してください。 ● レバーホイスの移動範囲全体がはっきりと見通せる場所で安全を確認してから操作してください。 ● 据えつけは、専門業者・専門知識のある人以外は絶対に行わないでください。 ● 据えつけは、自由に揺れ動くように吊り下げてください。 ● ブレーキがきちんと作動することを確認してください。

2 各部の名称・仕様



■ 名称一覧

- ①ハンドホイール
- ②切換レバー
- ③操作レバー
- ④吊り上げチェーン（遊び側）
- ⑤吊り上げチェーン（負荷側）
- ⑥下フック

注文コード	45857746	45857755
定格荷重(t)	0.25	0.5
標準揚程(m)	1.0	1.5
ロードチェーン線径(mm)×掛数	4×1	5×1
定格荷重を持ち上げるために必要な手動力(N)	206	255
質量(kg)	1.9	2.9
寸法	A	94.5
	B	35
	C	84
	H(min)	230
	L	163
	D	34
	K	24

※ 上記の仕様は、予告なしに変更することがあります。

■ 動作条件

- 使用温度範囲：－ 10℃～＋60℃
使用湿度範囲：RH100%以下（水中では使用しないでください）

3 操作方法

■ はじめに

- 重量物を取り扱う場合には思わぬ危険が伴う場合がありますので、必ず安全規則に従って次の点に注意してください。
- 操作の前に、作業エリア全体が安全であることを確認の上、はっきりと見渡せる状態で操作してください。出来ない場合は、2人以上で作業エリアを監視してください。

⚠ 警告

- 作業開始前に各部に亀裂、変形、傷、損傷、錆、ボルト・ナットの緩みなどがなく確認してください。
- 本製品は以下の場所で使用しないでください。
 - 湿った場所、水に長期間さらされる場所
 - 水中
 - 有機溶剤・爆発性雰囲気のある場所
 - アルカリ性・酸性雰囲気のある場所
- 作業に適した服を着用してください。だぶだぶの衣服、ネックレスなどの装身具は着用しないでください。巻き込まれたり引っ掛かったりして、ケガをするおそれがあります。
- 長髪の方は、髪が巻き込まれないよう十分注意してください

⚠ 注意

- 可動部、回転部分、ネジ山には、作業前(または定期的)に、マシン油かギヤ油を塗布または注油してください。

■ 吊り下げ前～下フックの高さ調節

無負荷の状態、切換レバー(②)を【図1】のように「中間」にします。
反時計回りにハンドホイール(①)を動かすとブレーキが緩み、チェーンを自由に調整出来ます。
※ ハンドホイール(①)を動かしてゆっくり調節することもできます。

■ 吊り上げ

- 1 下フック(⑥)に荷物を掛けます。
 - 2 吊り上げチェーン(負荷側)(⑤)がびんと張るようにします。
 - 3 切換レバー(②)を【図2】の位置にし、時計回りに操作レバー(③)を動かして、吊り上げチェーン(負荷側)(⑤)に荷重がかかるようにします。
- ※ 負荷がかかると操作レバー(③)にラチェットが働きます。
- 4 操作レバー(③)を往復させ、荷物を吊り上げます。

■ 吊り下げ

- 1 切換レバー(②)を【図3】の位置にします。
- 2 操作レバー(③)を往復させ、荷物を下ろします。

⚠ 警告

- 切換スイッチが中間の状態、チェーンを急激に引っ張らないでください。チェーンを急激に引っ張ると、ブレーキがかかる場合があり、ホイストの再調整が必要となります。
- 荷物が掛かっているときは、絶対に遊転操作をしないでください。

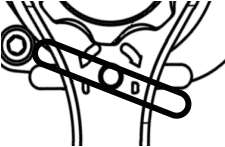
⚠ 注意

- 使用後は、泥や水気を拭き取って、吊り上げチェーンとフックの首の部分に、マシン油かギヤ油を塗布または注油してから保管してください(ブレーキ部には絶対に油が付かないようにしてください)。

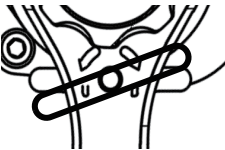
【図1】



【図2】



【図3】



4 点検

警告

- 点検は、専門業者または事業者が定めた専門知識のある人が行ってください。
- 点検をするときは、必ず吊り荷がない状態で行ってください。
- 改造は絶対にしないでください。
- 保守点検で異常箇所があったときは、絶対に使用しないでください。
- 点検は、取り外し地面に降ろして行ってください。
- 可動部、回転部分、ネジ山には、作業前(または定期的)に、マシン油かギヤ油を塗布または注油してください。

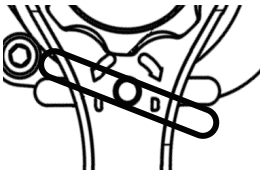
注意

- 保守点検をするときは、作業中であることを示す【作業中】表示を必ず取り付け、誤って使用されないようにしてください。

■ 日常点検

点検内容	点検項目	点検方法
銘板、警告ラベル	目視	表示(銘板、ラベル)の記載内容がはっきりと読めること。
機能	切換レバーを「吊り上げ」位置にして時計回りにハンドホイールを動かす。【図1】 切換レバーを「吊り下げ」位置にして反時計回りにハンドホイールを動かす。【図2】	ハンドホイールが「カチカチ」と鳴ること
フック	目視	著しい摩耗、または腐食がないこと フック本体が360°スムーズに回転すること【図3】
フックラッチ	目視	変形や著しい傷がないこと
吊り上げチェーン	目視	チェーンに著しい腐食(錆)がないこと チェーン表面に潤滑油が塗られていること
その他	目視	ナットや割りピンなどを紛失していないこと 本体表面に著しい傷や破損がないこと 吊り上げチェーンのチェーンストッパーが紛失あるいはねじれていないこと

【図1】



【図2】



【図3】



■ 定期点検

定期点検は毎月実施してください。

点検内容	点検項目	点検方法
フック	変形	ゲージ測定 フック変形測定値が表1の基準値を超えていないこと
	傷	目視 著しい錆、傷、割れがないこと
	回転	目視、動作確認 スムーズに回転すること
	フック部品	目視 リベット、ボルト、ナットに緩みがなく、紛失していないこと
	フックラッチ	目視 フック先端の内側にしっかりと接していること スムーズに動くこと
吊り上げチェーン	摩耗	ゲージ測定 5リンクピッチの和と線径が表2の測定値を超えていないこと
	傷・変形	目視 ねじれや著しい傷がないこと
	錆	目視 著しい錆がないこと
下フック止ボルト、ナット、ピン	変形	目視 ・ 下フック止めボルト、ナット、ピンを曲げたり変形させたりしないこと ・ ピンやナットに変形、傷がないこと ・ 緩んだり脱落していないこと

■ フック交換基準[表1]

	定格荷重(t)	A※(mm)	B(mm)		C(mm)	
		通常	基準	限界	基準	限界
	0.25	25.5	10	≤9.5	13.9	≤13.2
	0.5	25.5	10.5	≤9.5	16	≤15.2
※この寸法は公差の規定ができないため、各値は公称値です。 A寸法は、フックが新品のとき測定しなければなりません。 A寸法は、購入時に測定・記録した値の1.05倍を超えてはなりません。						

■ 吊り上げチェーン交換基準[表2]

	定格荷重(t)	L(mm)		D(mm)	
		基準	限界	基準	限界
	0.25	60	≥62	4	≤3.6
	0.5	75	≥77.4	5	≤4.5

5 メンテナンス

- メンテナンスを怠ると重傷または死亡に至る可能性があります。必ず行ってください。
- メンテナンスは、本製品の扱いに慣れた人が行ってください。絶対に本製品を分解しないようにしてください。

⚠ 警告

- 本製品のメンテナンスを行った後は、必ず使用前に安全性を確認してテストしてください。

⚠ 注意

- チェーンなど作動部に手や衣服が巻き込まれないように常に注意してください。
- メンテナンス時には絶対に運転しないでください。
- 荷重を支持している状態でメンテナンスは絶対に行わないでください。
- 汚れや水分は必ず拭き取ってください。
- 本製品は常に乾燥した清潔な場所に保管してください。

■ 給油

- チェーン、フック、ツメ等の動作部には必ず機械油を十分に塗布してください。

※：推奨潤滑油は、#3 グリースです。

⚠ 注意

- 使用頻度に応じて、毎週またはより頻繁に給油してください。

6 保管

- 使用後は、汚れを落とし、各回転部品と吊り上げチェーンにマシン油またはギヤ油を塗って、乾燥した場所に置いてください。
- 長期間使用しない場合は、水気や高温多湿、塵、ホコリを避け、清潔で乾燥した場所に保管してください。

7 廃棄

- 本製品を廃棄する場合は、使用できないように分解し、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。

8 使用制限について

- 本製品は、荷を吊り上げたり、水平や斜め方向に引き寄せたり、荷を締め付けたりする用途にお使いください。
- 人間の運搬および移動などには使用しないでください。
- 設備機械などの一部として、本製品を組み込んで使用しないでください。

9 使用者について

- レバーホイストのご使用について法規上特段の規制はありませんが、操作および使用する方は、安全作業のために玉掛け技能の講習を受講されることを推奨します。
- この取扱説明書および関連製品の取扱説明書を熟読し、内容を理解した上で、操作および使用してください。
- 操作および使用する方は、正しい服装と保護具を着用して行ってください。